

住まいと暮らしのデザインブック

# 住まいnet+新潟

WWW.SUMAI-NIIGATA.NET

vol.41

SPRING &  
SUMMER 2026

¥550

特集

家はもっと自由でいい。

誌上で  
完成見学会

## 新潟の住宅実例集

住まいづくりの  
アイデアを探して

## 小さな街、見つけた

SUMAIZUKURI  
DESIGN  
CENTER  
NIIGATA

特集 ライフスタイル提案

012 家はもっと自由でいい。

誌上で完成見学会

047 新潟の住宅実例集

048 有限会社丸正建設

054 株式会社稲垣建築事務所

060 オーガニックスタジオ新潟株式会社

066 roomz 株式会社星野建築事務所

072 LOCAL LIFE STANDARD / 株式会社池田組

078 有限会社大恭建興

084 アットホームラボ / 株式会社アオキ住建

090 株式会社フラワーホーム

096 株式会社石田伸一建築事務所

Welcome to Model House

107 モデルハウスへようこそ

108 T's home / 津野建設株式会社

114 BANhome / 株式会社藤真工業

123 ビルダーリポート

124 株式会社瀬賀工務店

126 株式会社カタチ創庫

128 グリーンスタイル / ダイエープロビス株式会社

135 新潟の冬と夏を快適に  
建てるなら雪国型ZEHの住まい

特集 住まいづくりのアイデアを探して

138 小さな街、見つけた

173 住まいの提案スマホマガジン  
すまいの

201 ビルダーズモア

222 ものの生まれるところへ  
住まいnet新潟読者プレゼント

229 資料請求方法



Cover Story  
家族3人プラス愛犬が暮らすコンテナ。夕暮れになると窓から明かりが漏れ、暮らしがこぼれ出す。鋼鉄の箱の中に家族の日常。愛犬がコンテナの中を行ったり来たり。明日も続いていく。  
五泉市 M邸

Photograph: Isamu Murai

大島モデルハウス  
大屋根のかかる  
塗り壁と半平屋の家



見学予約  
受付中



高い断熱性・気密性を兼ね備えた次世代型フラッグシップモデル。凍えるような寒い冬や、熱気がこもる暑い夏でも快適に。

HEAT20・G3 基準

断熱等性能等級7

耐震等級3

断熱性能UA値 0.19

気密性能C値 0.18

完成保証制度

地中熱利用24時間換気システム | 将来を見据えた間取り | 高品質な大型パネル工法

ユースフルハウスは、家を科学的に検証する「家学塾」メンバーです。



YOUSEFUL HOUSE

株式会社ユースフルハウス  
yousefulhouse.com

新潟中央スタジオ / 新潟市中央区網川原1-17-7 フリーダイヤル 0120-315-781  
燕三条スタジオ / 燕市井土巻3-30 (イオン県央隣り) TEL 0256-46-8022



資料請求番号



資料請求をしていただいた方先着30名様にクオ・カード500円分をプレゼント。  
※詳細は229ページをご覧ください。

## もう一度、一步

薄い青。白を纏って霞む春の空。  
まだ少し、眠たい表情です。

天を衝く建造物の柱。

それは暮らしのマイルストーン。

1本1本を道しるべに

「次の柱まで」。

到達したら「次の柱まで」。

そうして歩いてきた

『住まいnet新潟』は

20年の節目を越え、

再び、歩き始めました。

一人ひとりの、

家族の暮らしも同じ。

あの柱を目指して、もう一步。

春は、再び歩き始めるのに  
いい季節です。

一緒に、行きましょう。

『住まいnet新潟』編集部一同



# 建てようかな。

思い始めたら、まずは  
住まいNET新潟ラウンジへ

住まいnet新潟ラウンジは  
家づくりをするあなたのための相談窓口。  
新潟に特化した住宅会社の中から、  
ぴったりの会社をご紹介します。



ADVISER

迷っている時に、  
道筋を示して  
背中を押してあげたい  
アドバイザー 阿部みか

県外出身のSさんにとって、ビルダー探しはまさに手探りだったという。「自由度の高い家づくりがしたいと思って調べましたが、見るほどに迷って。一体どこから手をつけていいんだろうと分からなくなっていました。そんなある日、本屋でたまたま「住まいNET新潟」を目にした。そして県内のビルダーを紹介する場所があることを知った。「もともと地元で工務店で建てたいと思っていました。大手ハウスメーカーは価格が高いというイメージで。それに、自分たちに合うところを絞ってくれるのもありがたいと思って」。Sさんは早速アポイントを入れ、奥さまとともに「住まいNET新潟ラウンジ」を訪れた。

「どんな家が理想ですか?」。アドバイザーに質問されるままに答えた。シンプルなお家がいいこと、コストパフォーマンスを大事にしていること、高性能であること。アドバイザーからは3社ほどを提示され、各社の特徴や方向性も教えてもらった。参考にしつつ、パンフレットを見て「いいな」と思った2社を訪れた。e.s.「エス」建築事務所にしたのは「フィリングが合う」と思ったからだという。

あらかじめ自分たちの要望に合わせて絞ってもらったこと、「いい」と思う会社だけを訪れたこと。S夫妻は「いろいろなところを回っても決められない」と自分たちに合わせたラウンジの使い方をした。経緯を見てきたアドバイザーの阿部みかさんは「ラウンジは中立的な立場なので、それぞれの相談者のペースにも合わせられる。お二人が言っていた理想がすべて叶えられ、こちらとしてもうれしい」と喜びを分かち合った。



CLIENT

自分たちに合うところを  
絞ってくれたおかげで  
スムーズに決められた

相談者 新潟市西区 Sさんご家族



特集

# 家はもっと自由でいい。

家って何だろう。

定義はいろいろあるけれど

「これがわが家」と言えれば、それでいい。

いや、それがいい。

どこに住むか、どう暮らすかは自由。

常識も先入観も吹き飛ばして

思いのまま、心赴くままに。

自由な家には、自由なマインドと

明確な未来図があった。

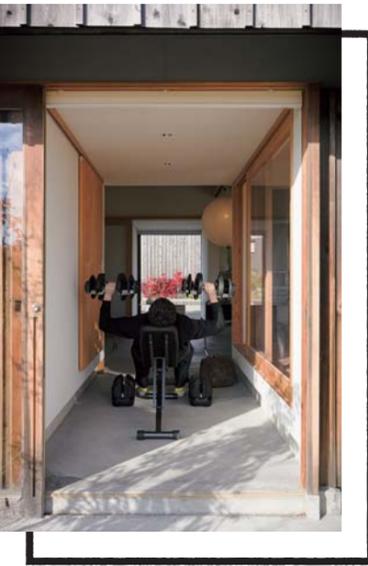
撮影 村井 勇

## 街に開く家。 土間に暮らす

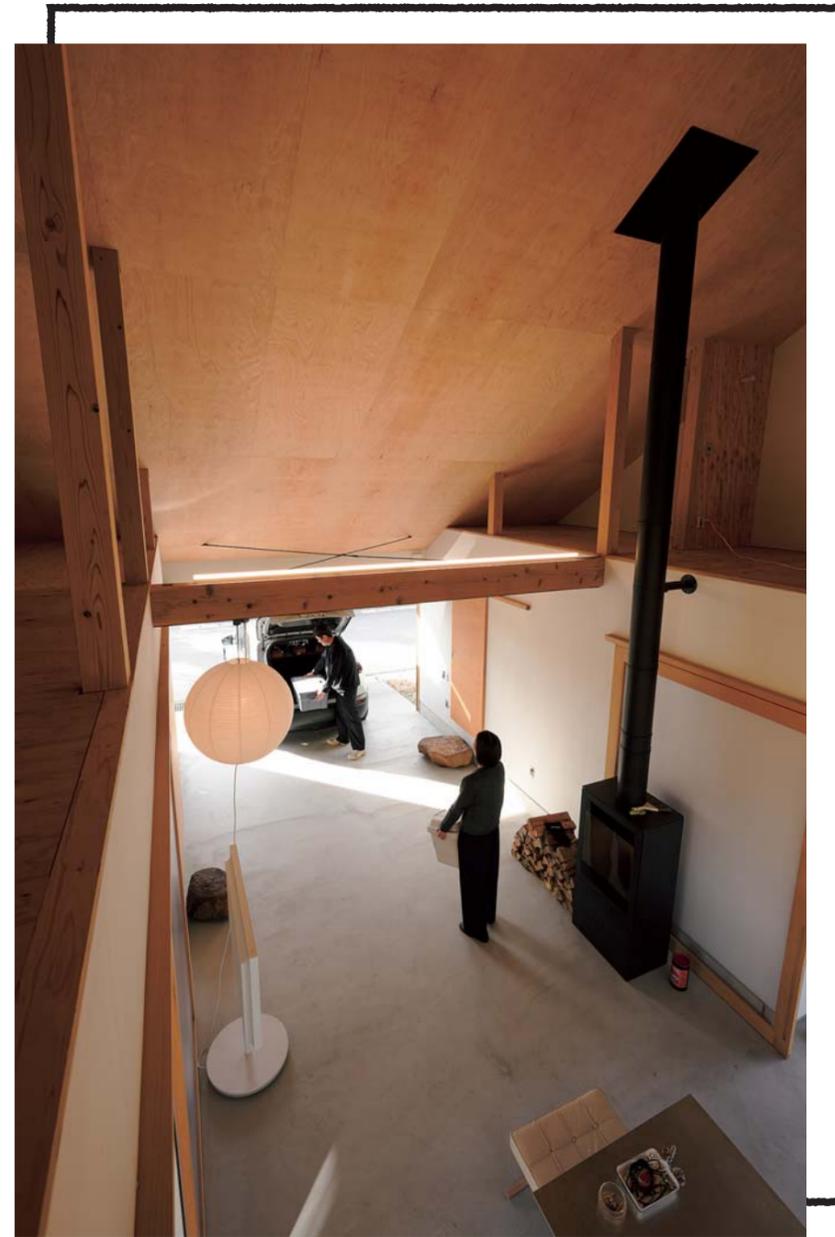
分譲された、いわば新しい街に  
大きな土間の走る家が生まれた。  
真ん中を大きく貫く半ソト空間は  
内に外を招き、暮らしは外へ溢れ出す。  
外と内の溶け合いは、ここまで可能だ。



シンプルな三角屋根の下、幅2.4m、奥行き約10mの土間  
が中央を貫通している。さらに横切るのは、幅1.8m×奥行き  
8.1mの土間。十字に土間の走る家は、石田伸一建築事務  
所とサルキジーヌのコラボレーションモデルとして生まれた



右頁・上右／居室の上り口には自然石を置いて  
 上左／荷物の積み下ろし時には、車を土間に入れて 下右／薪ストーブの煙突が天井に伸びる。天井は屋根に沿った傾斜で、屋根裏空間も  
 下左／テーブルの脚はブロックを積んだだけ  
 左頁・上右／沓脱石としての自然石が野趣を加えている 上左／短い方の土間は田中さんの筋トレスペース 中／寝室には大きな窓。目覚めの瞬間から非日常に浸れる 下／四隅の箱の一つはキッチンに。既製のキッチンカウンターの前に収納棚を置いて暮らしやすく



自然石、ブロック、ステンレス板。  
 剥き出しの素材をボンと置いて



特集 *家は自由でいい。*

02

オーガニックスタジオ新潟  
株式会社

北蒲原郡聖籠町1邸

木造軸組工法

工期210日

フリープラン

穏やかな暮らしを包む、  
小さな平屋

川辺に建つ、切妻屋根の小さな家。

室内に入ると、船底天井の下に  
大きな眺めと薪ストーブがある。

それは、二人が求めた時間を象徴している。

「眺めのいいところで、ゆったり暮らしたい」。東京に住んでいた1夫妻は、仕事と暮らしのバランスを考え直し、ご主人の生まれ育った新潟にUターンを決めた。「開けたところがいい」。理想の土地を郊外に探しながら、並行してビルダーを探した。住宅展示場に行き、インスタグラムで情報を集め、住宅雑誌を見て4社に絞った。選んだビルダーはみな、木を効果的に使っているところだった。中には、モデルハウスを見学して「木の使い方も温もりも理想的だった」と二人が口を揃えるオーガニックスタジオ新潟も含まれていた。

最終的に二人は、同社を選んだ。決める手はプランだったという。「唯一、薪ストーブと土間の提案があったんです。要望してはなかったのですが、初めは驚きましたが、間取りを見ていたらワクワクしてきて」。設計した阿部誠治さんに聞くと「特に薪ストーブは、お二人の求める暮らしにぴったりのアイテム、必須だと思いました」。たとえ休日だけでもいい。暖を取る目的でなくてもいい。薪を入れ、火をつけ、炎を眺めれば、大いなる安らぎを感じられる、それこそが二人の求めている時間ではないだろうか。1夫妻は「新しい環境で私たちがどう暮らすのかを考えて提案してくださった」とプランの意図を読み取った。そして、さらなる提案力を確信して依頼を決めた。

右頁／住宅街にありながら、川に面してオープンな敷地に建つ平屋。白い風景の中にあると、シンプルな形や密やかさが際立つ。深い軒は夏の日差しをカットする役割も。左頁／切妻の屋根に沿った天井にはヒノキのリブ板を張って。ゆるやかな勾配によって、外の風景はいつそう印象的に。眺めを取り込む4連の窓は、1夫妻の要望に応じて木製サッシを採用

ガルバリウムの、工房の奥に建つ軒家。木をあしらった外観は窓が少なく、閉じた印象だが、室内に入ると、明るく開放感あふれるLDKが迎えてくれる。高窓と掃き出し窓からは陽光が差し込み、外にはオープンスペース。アウトドアが好きな夫妻にぴったりの、庭と大きくつながる住まいだ。

に面して大きな開口を設け、冬は日差しを最大限取り込み、夏は庇でカットするように設計。その上で、冬は床下エアコン、夏は壁付エアコンのそれぞれ一台で家じゅうをまかなえるよう、同社標準の断熱性能を持たせた。確かな性能で囲った外皮の中には、無駄のない間取りをレイアウト。立面では、明るさと開放感をもたらす吹き抜けとスケルトン階段によって1階と2階をつなげ、平面ではLDK、浴室と洗面スペース、主寝室を並列さ

せ、コンパクトに結んだ。「もともと平屋がいいと思っていて、ワンフロアで暮らしを完結させたかったんです」。そう話す奥さまは、「どこに行くにも、何をするにもスムーズ」と暮らしやすさを強調する。キッチンからは、ランドリーにもその先の寝室にも直線で行き来でき、玄関を起点にすれば、リビング、ウオーキングクローゼットのある寝室へと多方向にアクセスできる。「仕切りが少なく廊下がないおかげで、面積以上の広がりがあると思う」。ご主

人は、間取りがもたらす開放感を満足の理由に挙げた。休日になると、ご主人はカーポートの隣にある、工房に向かう。ここでリビングにあるTVボードやキッチンのカップボードが製作された。さらにカーポートと家の間にあえて設けられた空間は、格好のBBQスペースに。「車が目隠しになつてちょうどいいんです。春になったら、念願の庭にも手をつけたい」。さまざまな「余白」が、F家に暮らしの楽しみを生んでいる。

庭に対して大きく開き、心地よく外とつながるLDK。あえてオープンにしたことで、日射を取得しつつ、さまざまな使い方に対応。愛用のワンポールテントを設営すれば、居ながらにしてキャンプが楽しめる



## Data

敷地面積 / 260.60㎡ (78.83坪)  
延床面積 / 117.58㎡ (35.50坪)  
1階面積 / 74.52㎡ (22.50坪)  
2階面積 / 43.06㎡ (13.00坪)  
工 法 / プレウォール工法  
基 礎 / ベタ基礎  
断 熱 材 / アクアフォーム  
屋 根 材 / ガルバリウム鋼板  
外 装 材 / 板金、塗り壁  
内 装 材 / 漆喰、ビニルクロス  
床 材 / 無垢フローリング ナラ  
開 口 部 / アルミ樹脂複合サッシ ペアガラス  
キ ッ チ ン / タカラスタンダード  
バスルーム / タカラスタンダード  
竣工年月 / 2025年5月  
家族構成 / 夫婦+子ども1人



## Builder

アットホームラボ  
株式会社アオキ住建

〒945-0041 柏崎市松美1-12-25  
フリーダイヤル 0120-15-9262  
FAX 0257-22-9269

07



資料請求番号

資料請求をしていただいた方先着30名様にクオ・カード  
500円分をプレゼント。※詳細は229ページをご覧ください。

上 / 階段は和室の隣から伸びる。リビングの一角にあり、一段目のステップはベンチにも  
中 / 寝室は小上がりタイプ。「自由度が高い」とM夫妻が要望した。2階の床は標準仕様の  
「あずみの松」 下 / 黒いガルバリウムのスクエアな外壁に、くすみがかかったグレイッシュ  
の塗り壁や木の格子がやわらかさを添えている



上 / 庭に沿って長く伸びるベンチの天井は板を張って少し低く。正面のTVボードも造作 中右 / 広いウォークインクローゼットには棚を造作して使いやすく 中左 / 壁にタイルを張った洗面台。外からの光も取り込んで 下右 / 庭は、L字型に配した正面の和室とフェンスによって囲まれ、外からの視線が気にならない 下左 / ゲストルームとしても使える和室をLDKの一角に。戸を閉めれば独立する



上質な空気感と  
開放感を  
溶け合わせて



Welcome to  
Model House

モデルハウスへようこそ

10

T's home  
津野建設株式会社  
女池モデルハウス

右頁／低い視線から水平につながるダウンリビングとプライベートテラス。テラスから室内に開放感が呼び込まれている  
左頁／外からの視線を気にすることなくつろげるプライベートテラス。床はメンテナンスフリーのグレーチングを採用



住宅街の狭小地に  
広がり光。  
コンパクトでも  
暮らし豊かに

住宅街の中でひとときわ目を引く木の家。スクエアなフォルム、シルバークレーの色合い、壁から壁へ連続する高窓。決して大きくはない。だからこそ可能性を感じさせる、そんな一軒だ。  
袋小路にある約33坪の土地を見て、佐藤眞弘社長はまず「いかにして開放感と心地よさを実現するか」を考えたという。利便性の高いエリアでもある。土地の取得コストを考えると「手の届く価格帯にすること」も必須条件になった。

導かれたのは2階リビング。唯一、視線の抜ける南側にL字型の開口を設けて光と開放感を招き入れ、それ以外の面はほとんど窓を開かず閉じた。結果、室内では外や隣家からの視線を気にすることなく明るさと広がりの中でゆったりと過ごせる。一方、間取りはキッチンから水回りなどの動線を短くして暮らしやすく。四方を住宅に囲まれた土地にありながらも開放感にあふれ、コンパクトでいて



伸びやかさを感じるモデルハウスは、デメリットをすべてメリットに転じた設計の結果だ。

性能面では、同社が19年前から取り組んでいるWB(ダブルブレス)工法を採用。壁の内側に空気の流れを設けることで、自然に有害物質を屋外へ排出。そのため室内の空気はクリーンで、夏の熱気や湿度も籠らない。この「呼吸する家」では、構造体の木材や断熱材も劣化が少なく、長持ちする。「安全に、健康に暮らしてほしいというのが当社の家づくりの大前提。それを理想的に、そして自然に実現できる方法として提案しています」。

このモデルハウスは、価格と性能のベストバランスを探った同社のセミオーダー住宅「4+(フォープラス)」の1つの形でもあるという。総2階を基本として、素材感を生かしたファサードに、そして無垢の木をはじめとする自然素材を多用。安心して長く暮らせる性能をベースに無駄を省いたデザインと間取りを組み合わせたモデルハウスは、手の届く価格帯というもう一つの切り札を持って、まちなか暮らしの可能性を提示する。公開後は販売も予定されている。

右頁・右上／新潟県産の杉を張ったスクエアな外観。キシラデコールを塗装してシルバーグレーの色合いに 右下／床対応のSOLIDO(ソリド)を張った玄関ホールから一段上ると、カウンターのあるスペース。スタディスペースやパソコンスペースとして活用できる。空間を無駄なく使った実例 左／ロフトに至る階段からリビングを見る。造作ソファがそのままステップにつながっていて省スペースに 左頁／ロフトのある2階リビングは窓から視線が外に抜け、面積以上の開放感に包まれる。窓際の造作ソファは省スペースにも有効

特集

# 小さな街 見つけた

「街」という文字は  
交差する道や行き来する人に由来するという。  
道が通り、建物が生まれ、人が交差する、  
そんな街のような場所を訪ねた。  
新しく生まれた、小さな街。  
どれも土地の形や歴史、風土と結びつき、  
まっすぐ未来を見据えている。

撮影・松崎典樹



木の梢の高さから鳥の目になって見下ろした「マチーシャの杜」。奥にある建物に向かって枕木の木道が続く。名前は、この地に3代続く町医者の家であることから名付けられた



## 2 小さな街

余白ある森の中に  
散歩道と止まり木

マチーシャの杜 新潟市秋葉区

かつて繁華街だった街と住宅街の狭間に  
緑のエアポケットがあった。

緑の塊は高塚医院の庭。

緑を漙くように余白を得た今は

木漏れ日が地面に落ちて揺れる。

誘われるように歩くと

止まり木のような建物が二つ。

緑に見え隠れする小さな小さな街が見えた。

「木をデザインする」という  
発想から生まれる  
無垢材の空間



稲垣 隆

代表取締役社長。一級建築士。1964年生まれ。「木をデザインする」という発想をテーマに住まいづくりを提案している。自社大工の育成から建築士の講師としても活躍。



02

株式会社稲垣建築事務所

EXAMPLE  
REPORT  
PAGE 054

〒940-2106 長岡市古正寺2-14  
フリーダイヤル 0800-800-7335 FAX 0258-28-0439

代表者/稲垣隆 創業/1962年 資本金/1,000万円 従業員/13名

事業内容/建設業(住宅・店舗)、リフォーム  
取扱い工法/主として木造軸組工法、鉄骨造  
有資格者/一級建築士2名、二級建築士3名、宅地建物取引士2名  
免許番号/建設業許可 新潟県知事(般-4)第17419号  
一級建築士事務所 新潟県知事(ハ)第5058号  
宅地建物取引業 新潟県知事(6)第4361号  
加盟瑕疵保険/株式会社住宅あんしん保証、住宅保証機構株式会社  
株式会社日本住宅保証検査機構(JIO)

取扱い坪単価 ※仕様や設備により異なりますので、お問い合わせください。

~60万円未満	~70万円未満	~80万円未満
~90万円未満	~100万円未満	100万円以上

取扱いエリア

全県	下越	中越	上越
----	----	----	----

住宅性能

長期優良住宅対応	ZEH対応
----------	-------

構造計算

全棟実施	要望により	非対応
------	-------	-----

標準耐震等級

2	3
---	---



www.inagaki-architect.com



資料請求番号 02

懐かしくて新しい日本家屋を  
普請する



古俣 忠孝

シンプルな意匠で、経年と共に味わいが増していく木の家を提案。家は住む人の生活や持ち物が入ってつくられるもの。個性的なデザインを追求するのではなく、余白やバランスが大切であると考え設計している。



01

有限会社丸正建設

EXAMPLE  
REPORT  
PAGE 048

〒950-2102 新潟市西区五十嵐2の町9049-2  
TEL 025-262-2668 FAX 025-262-2890

代表者/古俣忠孝 創業/1985年 資本金/300万円 従業員/10名

事業内容/一般建設業  
取扱い工法/木造軸組工法  
有資格者/一級建築士1名、二級建築士1名、1級建築施工管理技士1名  
免許番号/建設業許可 新潟県知事(般-2)第22865号  
二級建築士事務所 新潟県知事(二)第9183号  
加盟瑕疵保険/住宅保証機構株式会社

取扱い坪単価 ※仕様や設備により異なりますので、お問い合わせください。

~60万円未満	~70万円未満	~80万円未満
~90万円未満	~100万円未満	100万円以上

取扱いエリア

全県	下越	中越	上越
----	----	----	----

住宅性能

長期優良住宅対応	ZEH対応
----------	-------

構造計算

全棟実施	要望により	非対応
------	-------	-----

標準耐震等級

2	3
---	---



marusho-k.jp



資料請求番号 01

「モノづくりの根底に一つの言葉。機能的に豊かなものは美しい」

ステンとした形やかん、アケビの蔓を巻いたアルミのお玉、ロゴも模様もない弁当箱。佇まいのいい道具たちだ。そこには「デザインしよう」という力みや邪気が無い。だから、そばに置いておきたくなる。使うたびに気持ちが生きて立つ。工房アイザワの道具は、日常に心地よさげな生を。

地元が産する農機具や大工道具を扱う問屋として出発した。昭和43年に百貨店と共同で銅製の厨房用具を開発したのをきっかけに、調理用品の企画開発に踏み出す。名前が全国区になったのは1980年代。三代目、故相澤直人氏が工業デザイナーと共同開発したカトラリーがニューヨークの美術館の永久保存コレクションに選定された。彼が残した言葉は、背骨となって引き継がれている。「機能的に豊かなものは美しく、又、形の美しいものは機能的である。これをもう少し具体的に表現すれば、装飾性を削ぐ作業に徹する、ということになります」。五代目の相澤保生さんは言う。「日常道具は機能ありき。長く使ってもらうには、過剰な装飾は不要。飽きると思う」。

先の相澤直人さんの言葉には続きがある。「削ぐことでモノに生命をふきこむ」。カトラリー、弁当箱、調理道具に銅・銀製品など約2000点ある台所用品の一つひとつに命が吹き込まれ、機能ある美しさが佇まいとなっている。

右頁／銅の本体に朱や黒を塗ったカトラリー。大きさや用途の異なるスプーンやフォーク、バターナイフやケーキサーバーも。樋目などの伝統技術が施されているものも  
左頁・上／工房アイザワの銅のフォーク。左に銀仕上げを施して右のように仕上げる 下／人気商品の弁当箱。丸型や角型、細長い角長、小判型があり、2段になったものもある

ものの  
生まれる  
ところへ  
工房アイザワ

撮影／渡邊久男

装飾を削いだ  
日常道具

「機能美」を原則にモノづくりをしている工房アイザワ。ベースにあるのは

「機能と美は切り離せない」という考え。

両立させるため

装飾を削いで、機能をむき出しにして。

それが、美しい佇まいを生んでいる。